

令和2年2月25日

化学工学会会員各位

化学工学会会長  
阿 尻 雅 文

年会・学生発表会の中止に関するご説明

すでにお知らせしています通り、化学工学会理事会は第85年会および学生発表会の中止を2月21日に決定いたしました。その経緯と理由について会員の皆様にご説明いたします。

現在新型コロナウイルスの感染が拡大の一途をたどっております。化学工学会では2月21日に会長、副会長、庶務理事、事務局長からなる緊急対策会議を招集し、集められた情報や学会の社会に対する責任について議論を重ねました。その会議にて感染拡大状況と学会が置かれている状況について以下のような情報が集められました。

**【新型コロナウイルスの性質と感染拡大状況】**

- ・潜伏期間が長く感染力が極めて高い
- ・有効な治療薬・ワクチンがない
- ・日本各地にも感染が広がりつつある
- ・感染経路が明らかでないケースもある
- ・高齢者等が感染した場合には生命を脅かす重篤な症状を引き起こす
- ・2月21日時点で確認されている感染者は約100名（クルーズ船乗客を除く）だが、感染者数は増加し続けている

**【他団体の対応】**

- ・大阪府は主催のイベントを原則中止または延期することを決定（2月20日）
- ・会場がある吹田市を含め、大阪府下の多くの市町村も同様の対応を発表
- ・厚生労働省がイベント等の開催必要性の検討を促すメッセージを発信（2月20日）
- ・多くの企業が学会や展示会などの集会への出張を制限
- ・年次大会等において懇親会やポスターセッションを中止した学会が多数
- ・多くの学会で年次大会の中止の可能性を発表するも、2月21日13:00時点で中止した学会は確認できず
- ・日本学術会議公開シンポジウムなどのいくつかのシンポジウム・講演会は中止・延期を決定

**【第85年会運営への影響】**

- ・企業に所属する参加登録者からの参加キャンセルの連絡が多数

- ・海外からの参加者、招待講演者からの参加キャンセルが複数
- ・防疫のためのマスク、消毒液の調達が困難
- ・今後の感染拡大に備え第 85 年会 HP にて中止の可能性を発表（2 月 20 日）

化学工学会の活動は広く社会の発展と人間の幸福に貢献するものでありたいと考えます。終息する兆しが見えない状況において、1700 人規模の年会、300 人規模の学生発表会をマスクや消毒液が用意できない状況で開催することは、参加者の皆様のみならず、ご家族や職場をはじめとする一般の皆様への感染リスクを高めることにほかなりません。社会全体で終息にむけて努力しなければならない現状において、これは化学工学会として受け入れられないことです。

緊急対策会議は以上の見解で一致し、年会と学生発表会を中止するとの結論に至りました。この結論は同日開催された理事会にて審議・承認され、中止を決定いたしました。

年会や学生発表会は化学工学会にとって極めて重要な行事であり、これまで準備のために多くの方のご協力を頂きました。また発表者の方はご自身の研究発表のために懸命に準備を進めてくださっていたと思います。皆様の化学工学会へのご支援に心より感謝いたします。なにとぞ今回の中止に関して会員の皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。